



吉川のシンボル「尾神岳」



令和8年度 吉川中学校グランドデザイン



体育祭：全校生徒の輪

教育目標
向上心に燃え、心身ともにたくましく実践力のある生徒

生徒会伝統スローガン
明朗 さわやか 堂々

重点目標（目指す生徒像、学校像）
目標達成のための実践内容と方策

【学校経営の基本方針】

強み（小規模・少人数、小中一貫、地域との深いかかわり）
を最大限に生かした教育活動の推進

- ① 全職員の学校運営への参画、関係機関との連携「チーム吉川中」
- ② キャリア教育の視点に基づくカリキュラム・マネジメント
- ③ 5つの教育期を生かした生徒の主体的な活動の創造
- ④ 地域の教育資源の活用と地域貢献活動の推進

- 生徒が「わかった」と実感できる授業を目指した全校体制による授業改善
→「吉中スタンダード」に基づく授業、学び合い活動、課題設定の工夫、ICTの活用
- 校内委員会を中心とした全校体制によるいじめ、不登校・不適応対応、特別支援教育の推進
→「組織対応」と「初期対応」の重視、生徒・保護者との合意形成
- 小中連携や特色ある活動（郷土学習や地域貢献活動等）を核としたキャリア教育の推進
→「地域人材・外部講師の活用」、コミュニケーション力・自己有用感の育成

心身の健康を保ち、体力の向上に努める生徒
「活力と誇りある吉川中」

望ましい生活習慣の構築

- 教育活動全体で、規則正しい生活習慣・体力づくりを推進する。
- 命を大切にする教育を進め、自他を認め互いを尊重する意識を醸成する。
 - ・各教科等における「命の教育」の推進
 - ・教科体育、部活動、体育的行事での体力増進
 - ・学校保健委員会による家庭、地域への啓発
 - ・小学校と連携したメディア・セーブ運動

自らを律しつつ、他と協調して活動する生徒
「笑顔と希望ある吉川中」

郷土愛、主体性・社会性の育成

- 特別活動を中心に、自治の精神を涵養する。
- 地域の力を活用した様々な体験活動を工夫し、自己肯定感を高める。
- 多様な人間関係での活動を仕組み、広い視野・広い人間関係をもたせる。
 - ・生徒の課題意識に基づいた生徒会活動の充実
 - ・全校体制による地域行事への参画と地域連携の強化
 - ・異年齢集団活動、多様な外部講師による授業の実施

思いやり・協力性の涵養

- 生徒指導部会を中心に、いじめ・不登校の未然防止と組織的対応を行う。
- 同和教育を中核とした人権教育を進め、差別をしない、させない生徒を育てる。
- 全校体制による道徳の授業を推進し、道徳的実践力を高める。
 - ・定期的な情報交換の場の設定と関係機関との連携
 - ・教育期に応じた「考え、議論する道徳」の実践

- 学校間、家庭・地域・関係機関との連携・協働
 - ・授業公開、学校だより、HPによる情報発信の強化
 - ・学校運営協議会、青少年育成会議等との連携
 - ・吉川小学校、吉川高等特別支援学校との交流、連携

- 新潟県学校教育基本計画（今後目指す人づくりの姿）
 - ・ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていけるたくましいひとづくり
- 学校教育の重点
 - ・児童生徒が主役の授業づくりの推進と確かな学力の育成
 - ・いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成

- 上越市教育大綱
 - ・わくわくを未来へ
- 学校教育目標
 - ・ふるさとを愛し、自立と共生ができる子どもを育てる

向上心を持ち、主体的に学習に取り組む生徒
「知性と誉れある吉川中」

主体的な学習態度の育成

- 「話し合い活動」「思考の可視化」を大切にした授業改善を継続する。
- 生徒が興味・関心をもてる学習課題を工夫・設定する。
- 単元ごとの細かな見とりと評価を実施し確実な学力の定着を図る。
- 集中的な家庭学習から脱却し、自らプランニングする家庭学習の継続を支援する。

特別支援教育の推進

- 校内委員会を中心に、全校体制で特別支援教育を推進する。
- 授業のUD化に全校体制で取り組む。
 - ・UDプレートの活用、教室環境の整備
 - ・校内委員会を核とした全校体制での取組
 - ・特別な教育的ニーズの把握と対応
 - ・関係機関との連携による支援体制の構築

- 学校の指導体制の充実、研究推進
 - ・指導・支援の充実を図るT・T指導と個別指導の導入
 - ・市教育センター、市学校研の研修への計画的な参加
 - ・市教育委員会、教育事務所の訪問等の効果的な活用